

糖尿病ワンポイントレッスン10

2004.6月 by D.M.T. Saruya

インスリン療法とは

糖尿病はインスリンの働きが不十分のときに起こる病気なので、1型糖尿病のようにインスリンをほとんどつくり出すことができない場合や、2型糖尿病でもインスリンが不足していて補充が必要な場合に、外からインスリンを使用します。インスリンを使用しても、しっかりとした食事療法や運動療法でインスリンの分泌能力が回復すれば、患者さんによってはインスリン療法を中止できることがあります。また、インスリンを長期に注射していても、スルホニル尿素剤の二次無効のように慣れて効かなくなることはありません。

インスリン療法が必要な場合

- 1) 1型糖尿病
- 2) インスリン分泌が不足している2型糖尿病
- 3) 重い感染症や手術時
- 4) 妊娠中および妊娠を希望している場合
- 5) 他の病気で血糖を上昇させる薬を服用する場合

インスリンの種類

| 分類 | 商品名 | 作用発現時間 | 最大作用時間 | 持続時間 |
|------|------------|--------|-----------|-------|
| 超速効型 | ヒューマログ | 15分以内 | 30分～1.5時間 | 3～5時間 |
| 速効型 | ペンフィルR | 約30分 | 1～3時間 | 約8時間 |
| 混合型 | ヒューマカート3/7 | 約30分 | 2～12時間 | 約24時間 |
| | ペンフィル30R | 約30分 | 2～8時間 | 約24時間 |
| 中間型 | ペンフィルN | 約1.5時間 | 4～12時間 | 約24時間 |
| 持効型 | ランタス | 約1時間 | 4～24時間 | 約24時間 |

わからないこと、気になることなどがありましたら、お気軽に医師、薬剤師に声をかけてください。

